

作業療法

こころとからだを元気に!

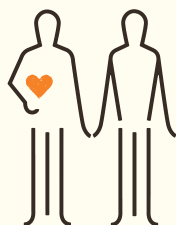
自分らしく生きるための

リハビリテーション

一般社団法人 日本作業療法士協会

INFORMATION
BOOK

1



こころとからだの リハビリテーション

あなたが今、

したいとおもうことを、思い浮かべてください。

もし、あなたが病気やけがなどで障害になったら…

あなたの日常生活が不自由になったら…

うまくできて、うれしかったり。

うまくできなくて、がっかりしたり。

食べること、寝ること、楽しむこと、何気ない動作を

一つとってみても、こころとからだの複雑な動きがあります。

作業療法は、障害と折り合いをつけながら、生き生きとした

生活を送れるよう、仕事、遊びなど日常生活のなかでの

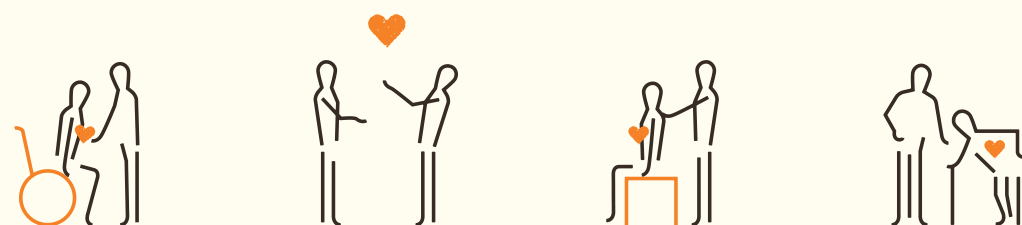
活動(作業)をとおして、

こころとからだを元気にするリハビリテーション。

作業療法士は、「あなたらしく」生活を送れるように、

その人の「今」と「これからの」豊かな生活づくりを、

お手伝いします。



こどもから、お年寄りまで。

作業療法は、病気やけが、もしくは、生まれながらに障害がある人など、年齢に関係なく、日常の生活に支援が必要なすべての人に関わります。

作業療法の対象となる主な疾患

こころとからだに障害がある人

こころ

統合失調症、気分(感情)障害、神経症性障害、ストレス関連障害、精神作用物質使用による障害(アルコール依存症など)、器質性精神障害(認知症など)、成人の人格および行動障害、その他



からだ

脳血管障害(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など)、高次脳機能障害、脳・脊髄腫瘍、脊髄損傷、多発性硬化症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、末梢神経障害、骨折、切断、関節リウマチ、熱傷、廃用症候群、その他



発達期

脳性麻痺、脳形成不全、小頭症、水頭症、奇形症候群、二分脊椎、低酸素性脳症、脳炎・脳症・髄膜炎、知的障害(精神遅滞)、多動性障害、行為障害、学習障害、その他



高齢期

器質性精神障害(認知症)、脳血管障害、骨折、骨関節障害、廃用症候群、その他



している能力。できる能力。

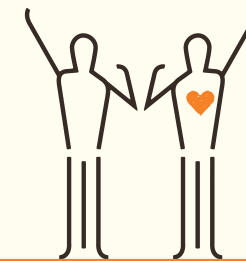
基本、応用、社会適応、

3つの能力!

作業療法の目的は、3つの能力を維持・改善します。また、環境(人為的環境・物理的環境・社会的環境)の調整や、社会資源や諸制度の活用を促し、健康の維持・増進など、その人らしい生活の獲得を目標とします。



3つの能力を維持・改善

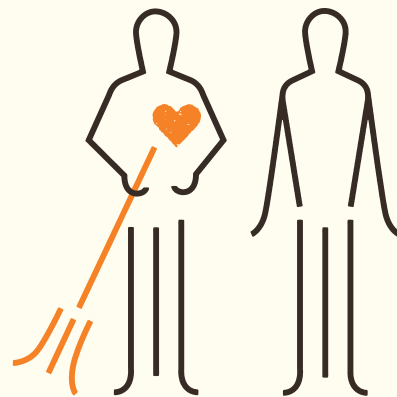


作業活動って？

食べたり、工作したり、仕事や遊びなど人の日常生活に関わるすべての諸活動を「作業活動」と呼び、治療や援助もしくは、指導の手段としています。

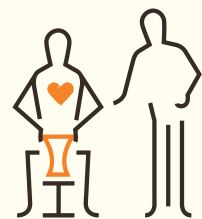
生活活動

掃除や調理など生活のなかでの動作



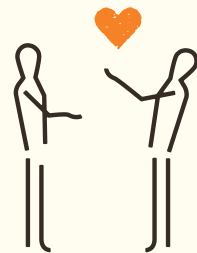
創作・表現活動

陶芸や編み物など、手芸や工芸での動作



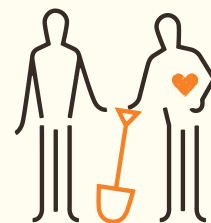
感覚・運動活動

風船バレーボールなど運動での動作



仕事・学習活動

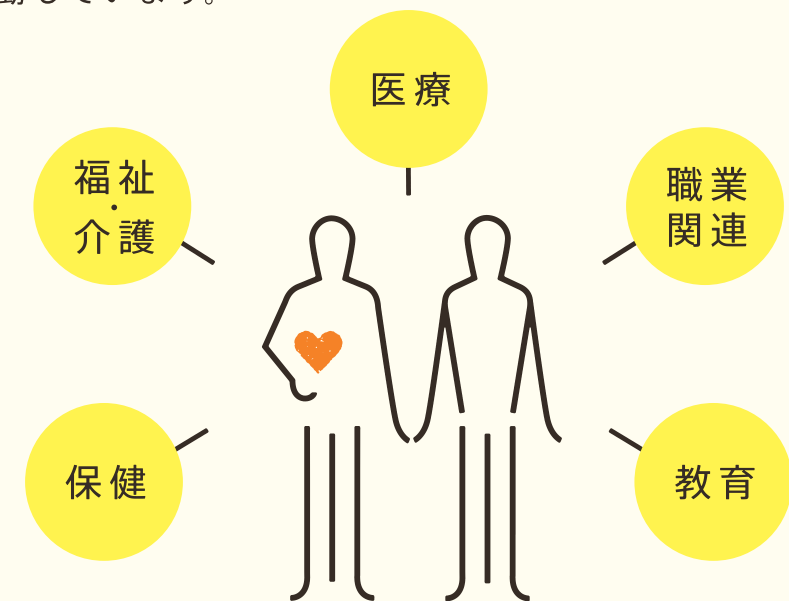
農作業や勉強など社会での動作



作業療法士は、 あなたの街にいます。

作業療法士は、リハビリテーションの専門家。

医療や福祉・介護をはじめ、保健・教育・職業領域での、治療や予防的な働きかけや、社会復帰への支援など、さまざまな場所で活動しています。



医療 一般病院 / 特定機能病院 / 精神病院 / 地域医療支援病院 など

福祉 身体障害者更生施設 / 児童福祉施設 / 知的障害者福祉施設 など

介護 介護老人保健施設 / 通所リハビリテーション / 訪問看護ステーション など

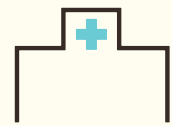
職業
関連 就労支援事業施設 など

保健 地域包括支援センター / 保健所 / 保健センター / 地方自治体 など

教育 特別支援学校 など

作業療法士と ともに。

急性期 → 回復期 → 維持期

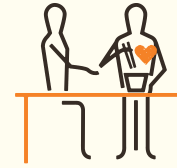


病気やけがにより障害をもったら、病院や施設でのリハビリテーションを行います。

作業療法士は、食事、着替え、入浴、歩くことなど人それぞれの生活を送れるよう、その時期や状態をみながら、治療、援助、指導していきます。

急性期

病気やけがの初期の段階で、早期のリハビリテーションを開始する時期。症状に合わせて、こころとからだの基本的な機能の改善を援助するとともに、新たな機能の低下を予防します。



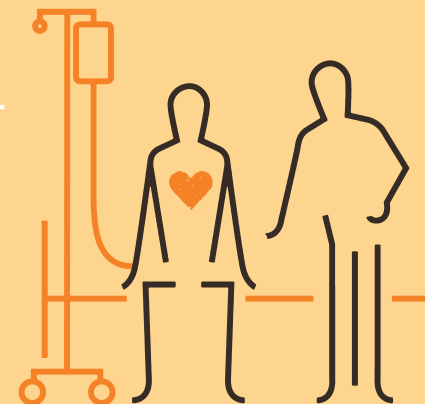
自助具などを利用して、
食べる練習



車いすからベッドへ
乗り移る練習



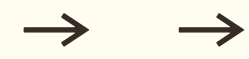
トイレにて、乗り移りや
用を足す練習



けがや病気になってからの
早い時期より、ベッドから
起きる・座る練習をします。

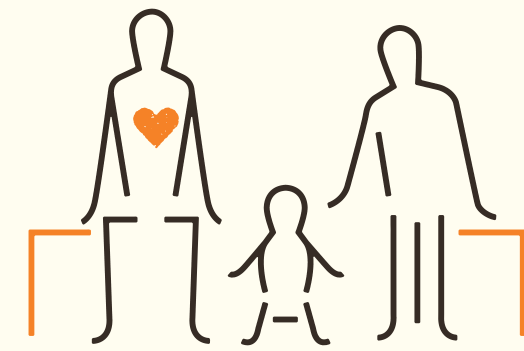
回復期

病気やけがの状態が安定し、機能や能力の改善が認められる時期。生活していくために、不足している機能を獲得し人それぞれに応じた生活の方法を習得します。

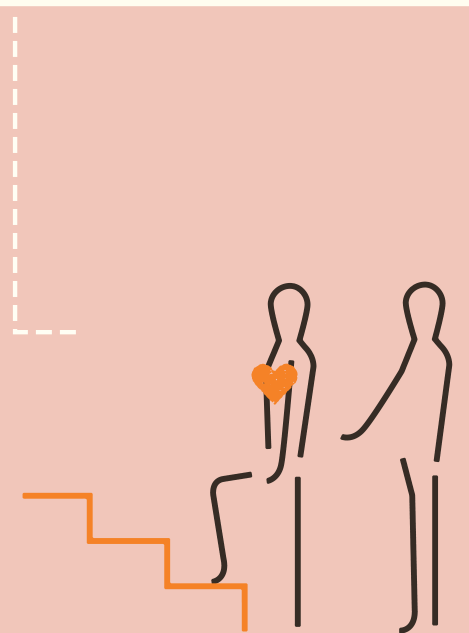


維持期

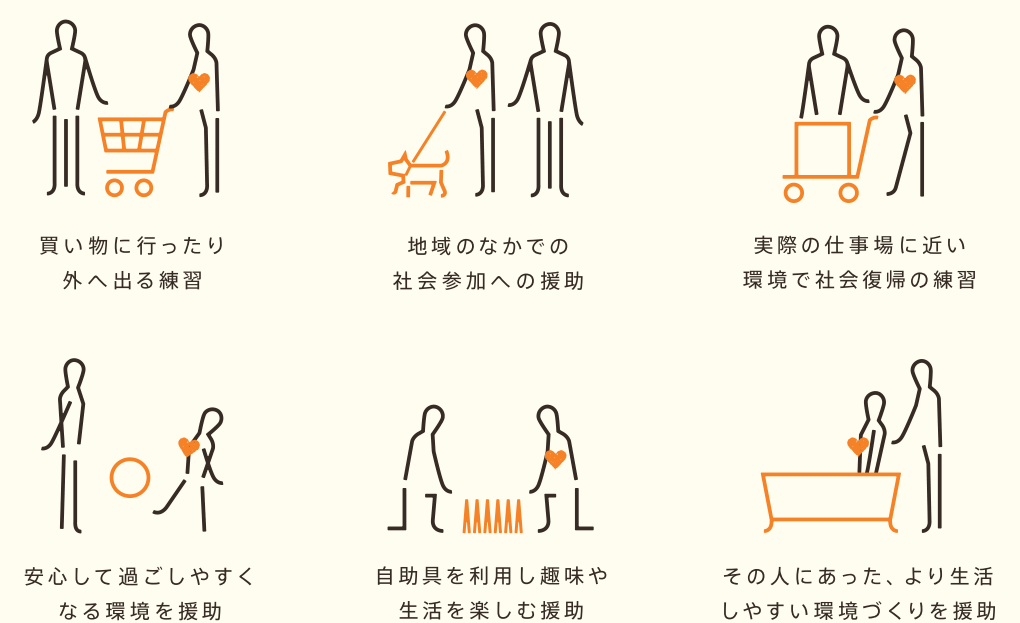
個人の生活を中心に援助を行う時期。社会のなかで、人それぞれが生きがいを見つけ豊かに生きるための生活の実現を図ります。



その人らしい生活を送れるように、過ごす場や仲間作りの場を提供し、生活を支援します。

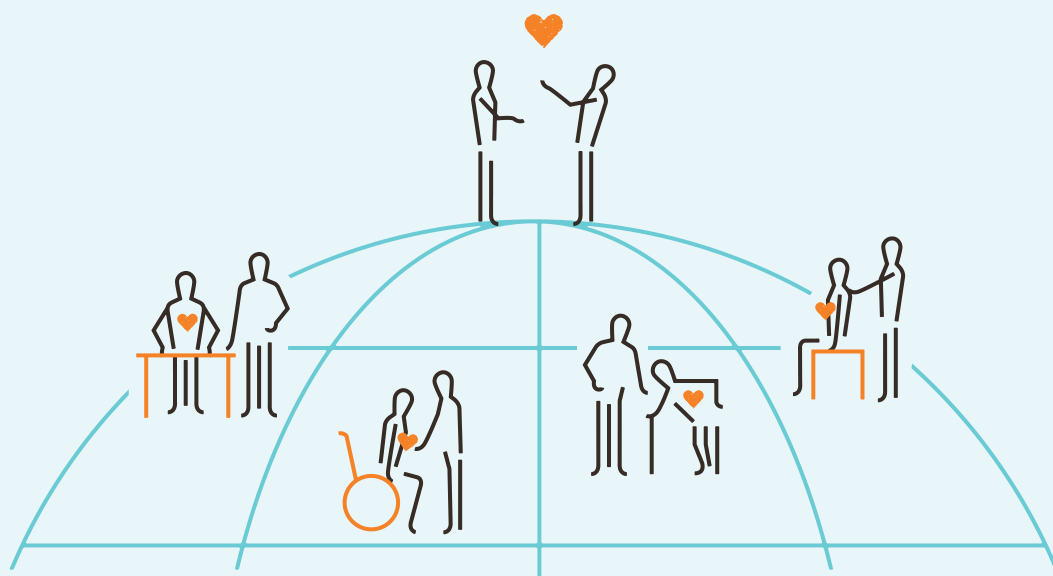


残っている機能や能力をうまく使い、階段の昇り降りを練習します。



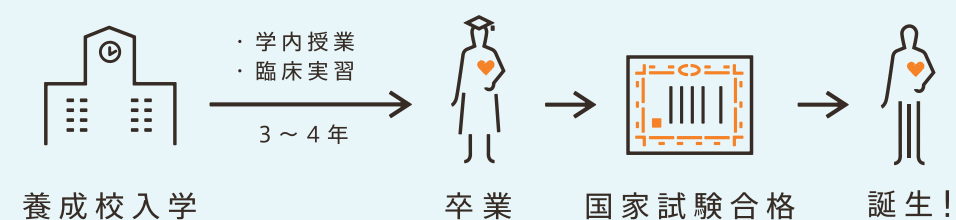
日本で、世界で活動しています。

青年海外協力隊やシニア海外ボランティアとして途上国で活動したり、世界作業療法士連盟国際学会で研究発表をするなど。日本の作業療法士は、国内だけでなく海外にも活躍の場を広げています。



作業療法士が、誕生するまで。

作業療法士になるための養成校は、全国に約170校あります。養成校は大学・専門学校などがあり、修業年限は3年または4年です。養成校では、作業療法士として必要な医学的知識や専門知識・技術を講義や実習で学びます。臨床実習では臨床実習指導者のもと、病院や施設で実際に対象者を治療する経験をします。



養成校を卒業すると国家試験の受験資格が得られ、
国家試験に合格すると厚生労働省より作業療法士の免許が与えられます。

一般社団法人 日本作業療法士協会

作業療法士国家資格取得者で構成される団体で、
1966年に結成され、1972年には
世界作業療法士連盟(WFOT)に加盟しています。
1983年に、厚生省(現 厚生労働省)より
社団法人として認可され、
2012年には一般社団法人に移行しました。

当協会では、医療・保健・福祉の向上を目的に

1. 作業療法の学術・技能の研鑽

2. 作業療法士の資格の向上

3. 作業療法の普及と発展 を掲げ、

国内外に向けて意欲的な活動を行っています。

www.jaot.or.jp

都道府県作業療法士会

各都道府県には作業療法士会があり、地域に根ざした
活動を展開しています。また、全国的に連携が
取り合えるよう、連絡協議会が組織されています。



ひと仕事をするって、
のびた気分になるよ。



Japanese
Association of
Occupational
Therapists

一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局

〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル 7階

TEL.(03)5826-7871 FAX.(03)5826-7872